

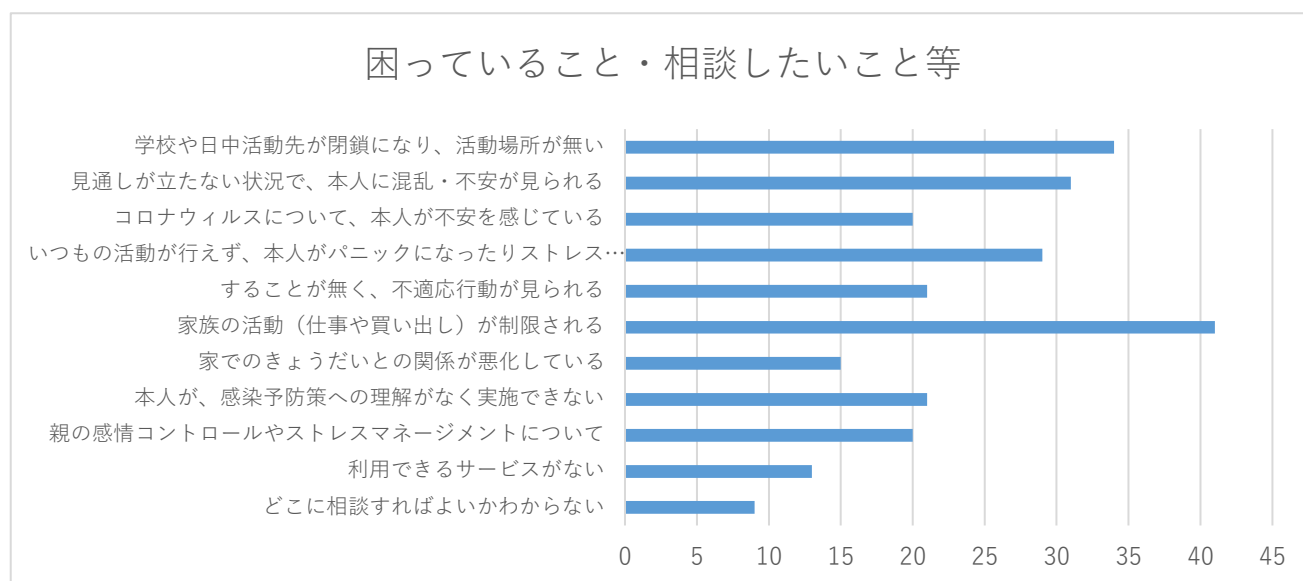
アンケート集計結果

「感染症の流行とそれに伴う自粛生活等における、発達障害児者やその家族、関係支援者の現状と支援ニーズについての実態把握のためのアンケート調査」

【家族向け】

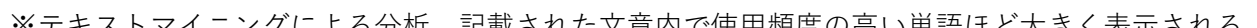
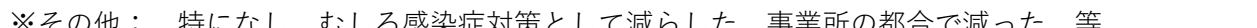
有効回答者数 84 人

Q1. 感染症の流行により、困っていることや、相談したいこと等について、当てはまる項目すべてにチェックをしてください。（複数選択）



その他： ※主なものを抜粋

- ・施設（入所）での感染が心配。どのような感染症対策を行っているのか知りたい。
- ・時間に縛りがないため、逆にゆとりある、マイペースな生活が出来ている。
- ・息子は人と関わる機会が減り、ストレスを感じている様子。オンライン茶話会などあれば。
- ・学校の宿題等、子どもの家での生活のマネジメントが大変。
- ・子どものストレスも心配だが、親が気持ちを吐き出す場が欲しい。
- ・感染症について本人に分かりやすく伝える絵などのアイデアが載っているサイトを知りたい。
- ・子どもは高3ですが、学校での進路指導が進まず不安。
- ・運動不足になっているのが心配。
- ・外出できず、留守番もできない。利用していたサービスは、そこまでの送迎に時間がかかり、また自粛を求められているので、家にいるしかない状況。本人の苛立ちや自傷が増えた。
- ・もともと睡眠障害もあったが、さらに生活リズムが乱れた。
- ・事業所が通常通りの受け入れをしてくれて非常に助かった。
- ・家族が感染し入院等となった場合の本人の面倒を見る人がいない。
- ・本人が自分で情報を収集し、行き過ぎた予防策を強迫的に行っているため大変になっている。
- ・オンラインでのゲームや学習に取り組んでいる。一人でできる余暇は重要。
- ・これまで利用していたサービス（短期入所、ヘルパー等）が利用できなくなり困っている。

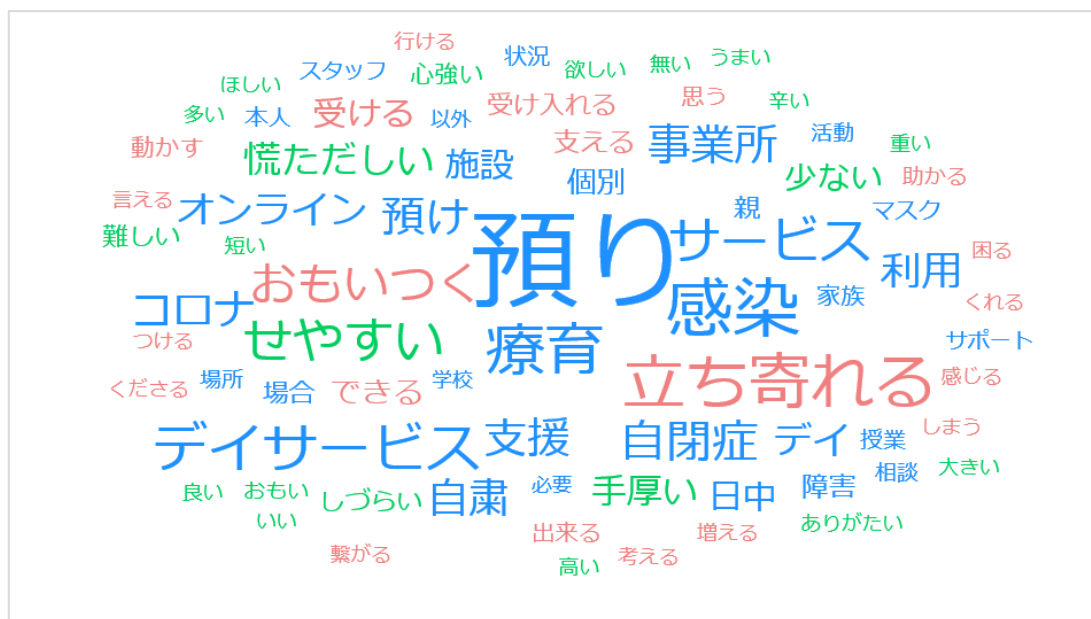


- ・子どもの生活リズムが崩れないように注意していた。1日1回は公園や散歩などに出かけ、体を動かすようにしていた。
- ・普段できないことに取り組む。生活において出来ることを増やす。
- ・電話では伝えきれない情報を、家の中にスカイプ端末を置いて、外出先から動画通話で話すよう

にしています。

- ・感染症の情報収集として、テレビなどのメディアよりもネットの方が玉石混交とは言えスピードも情報量も多く、役に立ったと感じました。また、子供の在宅中の時間つぶしにも、親の布マスク作りにも、YouTube の必要性を強く感じた期間となりました。
- ・TEACCH プログラム研究会「不確実な時に自閉症の人たちを支援するということ」
- ・岡山大学の HP、3 月のライオンの作者の手洗いイラスト、ストレッチマンゴールドのコロナに関する事。
- ・ネットをみて工作したり、クッキングやおにぎりパーティー、おもちゃのプラレールを使い、回転寿司風にしてご飯を食べました
- ・親子での時間を有効に活用出来ればと身辺自立に向け、家事を一緒に行いました。
- ・子供の進学先の学校が、保護者宛にも細かな情報を伝えてくれたので、学校生活の不安は軽減されました。
- ・テレビのニュースを見せて、コロナのために閉鎖しているところが多いことを何度も説明する。
- ・娘が在宅勤務の時に、マスクを作りました。知り合いの方に配ったり、本人も感謝されてうれしかったように思います。
- ・PC から学習プリントをプリントアウトして、毎日勉強させています。
- ・感染症予防の理解が難しいので、買い物に出かけても、本人が希望する買い物を済ませたら、車の中で待っていてもらうようにするなど、なるべく公共の場所（不特定多数の人が利用する場所）にいる時間を減らす、車から降りたら、車内に戻るたびにウェットティッシュや除菌スプレーを利用するなどしていた。
- ・なかなか綺麗に手洗いが、出来ませんでした。歌に合わせて洗うと上手に洗うことが、出来るようになりました。
- ・SNS などの交流の場、会えずとも気軽に交流が取れるから。こういう繋がりもない人は、出かけることも、人と会うこともままならない状況で子供と向き合い続けなければいけない狭い空間の生活ばかりではしんどい気がします。小さい子がいる家庭は、保健師さんが電話をくれたりとかだけでもだいぶ違う気がします。
- ・新聞記事に掲載されていた自粛疲れを防ぐための 外出自粛に伴うストレスの予防法 の記事が役立ちました。
- ・外出先では、帽子・マスク・ヘルプマークを付けて買い物をしていました。レジに並ぶ時は、足形の視覚的な支援があったお陰で、ちゃんと距離を取って並ぶ事ができて良かったです。やっぱり、視覚的にわかりやすい指示があると、見てすぐ理解できます。いちいち他人の指示を受けるストレスが無く良かったです。
- ・スケジュールと選択活動。検温なども、一度スケジュールにいれると定着してくれました。
- ・ウォーキングスタンプを作成し、ご褒美を目的に毎日歩くようにしている。身体を動かす機会の激減にストレスや身体への影響が心配なため
- ・家族会のつながりを切らないよう情報交換を試みる。
- ・我が家の場合は子どもは成人しており、ネットを通じて当事者や支援者とのつながりが多方面にあるようで、親として特に困ったことはありませんでした。
- ・一日のスケジュールを本人と相談して作成し、通常どおりの生活をした。
- ・いつも使用している巻カレンダーやおめめどうのメモで、休校の理由などを伝え、日頃から視覚支援をしていたので落ち着いて過ごせている。

Q4. 感染症流行の状況において、必要だと感じる、足りない等と思うサービスや機関、支援メニュー、場所等をお書きください。（自由記述）



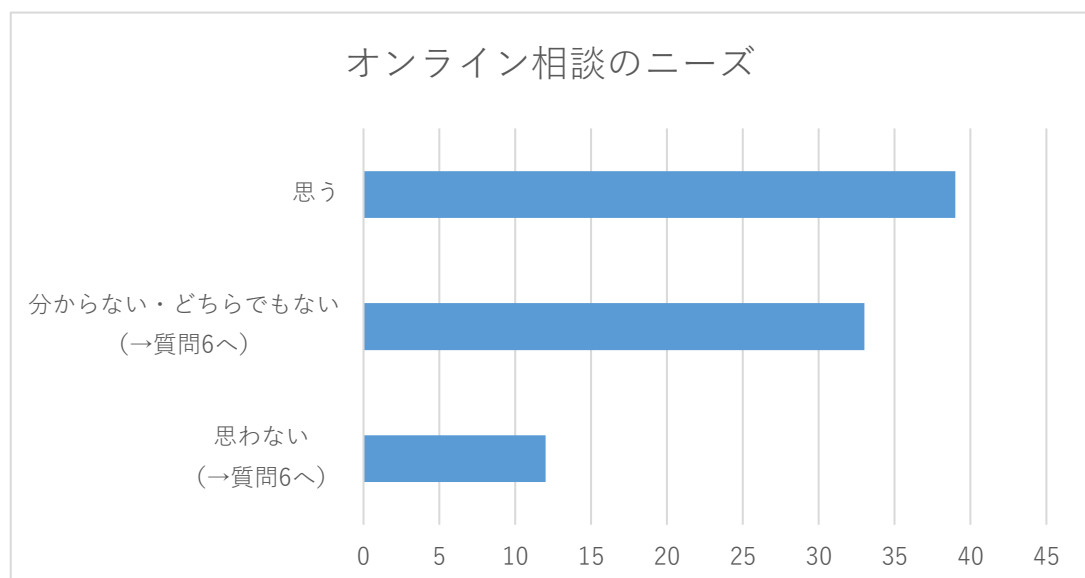
※テキストマイニングによる分析。記載された文章内で使用頻度の高い単語ほど大きく表示される。

※主なものを抜粋

- ・少人数のデイサービス。
- ・親が感染したり、職場の感染状況で帰宅制限が出た場合のフォローの見通しを事前に息子に知らせておけるようにしたい。生活や受診のフォローはどの程度受けることができるのかがわからない。事態や事業所等のキャパ、スタッフの状況にもよるだろうが、項目ごと（食事、移動、受診など）にサポートの段階レベルが示されたチェックリストがあると、「この度の事態や事業所等の状態」ではどのようなサポートを受けられるのかという見通しを持たせやすくなると思う。
- ・障がいのある子どもたちが発散できる場が欲しい。
- ・将来的に学校の授業がオンラインでも受けれるようになれば良いなとは感じました。オンライン授業時に親がそばにいられない、ネット環境を構築できないなど、各家庭に不公平感が出る問題もあるでしょうが、オンライン授業が選択できるようになれば、インフルエンザによる学級閉鎖時にも利用できそうですね。
- ・仕方のないこととは言え、療育センターや日中預りを利用できないのは堪えました。
- ・感染症対策で預り休止にしても、施設には何の補助もないと聞き、この状況が続くと預り施設が潰れてしまうのではないかととても不安になりました。
- ・これは、慢性的な問題だと思いますが、療育センターも日中預り施設も、人員が少なく活動が大変だろうなとは感じています。こちらとしては、手厚くサービスを受けられるのならありがたいですしそれに越した事はないのですが、人数の少ない中で子供たちのサポートをしていただくスタッフさんの事を考えると贅沢わがままは言えませんが、私たち親も自力で療育を行うなど、出来ることはしていかなければならないのだろーと思います。サービスが足りない、と言うより長期間かわかることの出来る福祉スタッフの充実が先かと思います。
- ・相談できるところがない。
- ・障害が重い子の預け先。親が買い物などにいけない。

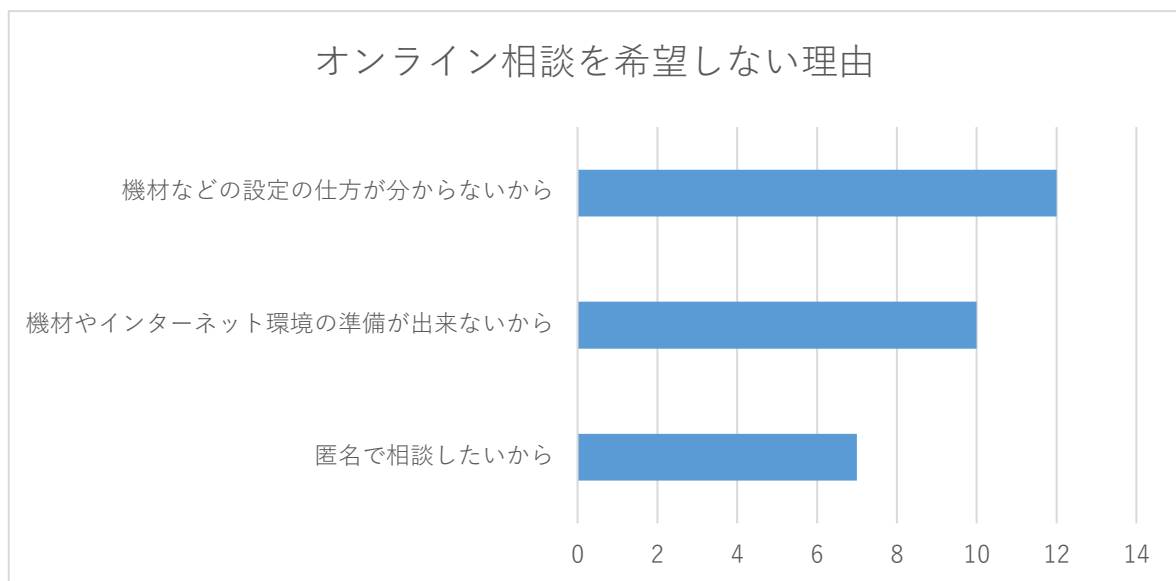
- ・お店や公共機関等の、マスク着用やソーシャルディスタンスの説明が文字のみが多い。全てのところでイラスト提示もして欲しい。
- ・他者との関わりが激減したのが心配なので、家族以外の人と関わる機会があればと思います。
- ・本人がもし感染した場合、一人での入院などは難しいと思った。
- ・対面というよりは、簡単に気軽にやり取りできる場があればいいと思います。改めて相談となると敷居が高かったり、遠慮しがちな所があるが、例えば LINE や Facebook など気軽に立ち寄れる SNS などがあれば、自分から発信しづらい人でも気軽に活用できるような気がします。
- ・専門家さんとやり取りできることも必要だと思いますが、保護者同士、当事者同士が安心して交流出来る場があれば心強い気がします。
- ・ショートステイの受け入れが多いと良いかと思います。
- ・知的障害を伴う自閉症当事者へ、コロナについて理解して貰う方法を知りたいです。
- ・本人や家族が感染した場合の対応についての地域ごとの相談機関や受けられるサービスについての情報がほしいです。
- ・親が急に何かあった時に利用できるサービスが少ないと思う。 前もっての利用はできても急は難しい。
- ・学校のオンライン環境と個別スペース、市内の行動援護など個別利用のサービスの充実。放デイは建物が過密で利用者の年齢層も様々、重複障がいの子供は感染リスクが高いので利用できなかった。
- ・デイサービスが自粛になったり、なかなかヘルパーさんに入ってもらえないと買い物などに行けないのが困った。ネットスーパーもなかなか繋がらず、繋がっても欠品などで両方が駄目な時に、短時間でもいいので日中一時預かりがあると助かるな～と思いました。
- ・やはり現状を理解出来ずパニックになっている子も多いので、聴覚過敏な子には静かに過ごせる場所やカームダウン出来る部屋があるデイサービスなどがあるといいと思います。

Q5. オンラインでの相談窓口があれば、利用したいと思いますか。



Q6. オンラインでの相談を希望されない理由について、当てはまる項目すべてにチェックを入れてください。

※Q5 で「思わない」、「分からない」を選択した人のみの回答



その他： ※主なものを抜粋

- ・今は、相談事がないから。
- ・日頃から接している地元地域の相談員に相談したい。
- ・本当に困っているときは相談すらできない状態だが、落ち着いたら、気持ちも落ち着くから。
- ・困り具合がきちんと相手に伝わるかどうか不安。
- ・相談しても解決しないから。
- ・直接でもニーズや本音を理解してもらえない。リモートならなおさら難しい。
- ・相談すること、話をする（聴いてもらう）ことよりも直接的な支援が必要。
- ・本人がいつも一緒にいるので、相談できない。
- ・相談員によって対応にムラがある。過去に物言いに傷ついたことがある。
- ・オンライン相談の手順等を教えてもらえればできるかもしれない。